

第113回 発電用設備規格委員会 議事録

1. 日 時：2025年3月28日（金）10:00～17:10
2. 場 所：WEBEX
3. 出席者：委員25名（委員代理含む）、敬称略

【委員】

笠原委員長（東大）、松永副委員長（東芝 ESS）、北浦幹事（関電）、高橋（理科大）、波木井（東電）、木村（NIMS）、堂崎（東北大）、町田、(TEPSYS)、浅山（JAEA）、大谷（MFBR）、平野（日立 GE）、小山（JSW M&E）、渋鋤（IHI）、楠（日本原電）、爾見（発電技検）、三浦（電中研）、朝田（三菱重工）、山口（HSB ジャパン）、高柳（電気協会）、増川（火原協）、山田（中電）、飯田（JERA、火専長）、高屋（JAEA、原専長）、西井（電源開発、材専長）

【委員代理】

渋鋤（IHI、中平（QST）核専長代理）

【欠 席】

川畑（東大）

【アドバイザー】

なし

【常時参加者】

なし

【オブザーバ】

寺田（東芝 ESS）、藤田（東芝 ESS）、西田（三菱重工）、大厩（関電）、永田（日立 GE）、奥田（JAEA）、高木（東電）、菊池（三菱重工）、志田（東電）、北条（三菱重工）、野村（CS エンジニアリング）、伊藤（IHI）、鬼澤（JAEA）、浅野（日立 GE）、井上（東芝 ESS）、中島（三菱重工）、中村（阪大）

【事務局】

松岡、中村、渡邊

4. 配布資料

- 113-1：第112回発電用設備規格委議事録案
- 113-2-1：委員名簿
- 113-2-2：材料専門委員会次期委員長選任結果
- 113-3-1-1：2025年度 原専活動計画及びロードマップ（分科会／タスク）
- 113-3-1-2：2025年度 原専活動計画（新知見検討表）
- 113-3-1-3：2025年度 原専活動計画に対するご意見伺いの書面投票結果通知
- 113-3-2：内規「誤記等の訂正に係る処置要領」の改定について
- 113-3-3：内規「適用年版管理用正誤表リスト作成内規」の改定について
- 113-3-4：正誤表リストの運用について（報告）
- 113-3-5：公衆審査原稿範囲について
- 113-3-6-1：材専 新規材料採用に関するガイドライン改定の提案
- 113-3-6-2：材専 新規材料採用に関するガイドライン改定の提案（補足資料）
- 113-4：第102回 規格委幹事会 議事録
- 113-5：投票結果
- 113-6-1：新規質問及び受付済（未回答）質疑応答
- 113-6-2：公衆審査結果
- 113-7：火力専門委員会報告
- 113-8：原専活動状況報告
- 113-9：材料専門委員会報告
- 113-10：核融合専門委員会活動状況報告
- 113-11-1：規格類協議会（2025/03/18）議事メモ
- 113-11-2：ASME Code Week（2025/2）の概要報告

113-11-3 : 規格出版状況 (2025/03/28)
 113-11-5 : NEA WGNT workshop Flyer V4
 113-11-6 : ISO 20890 シリーズ定期レビュー (Systematic Review) 検討依頼について
 113-11-7 : 2025 年度年次大会 特別行事企画講師推薦依頼
 113-12-0 : 発電用火力設備規格 詳細規定 (202X 年版) 第Ⅶ章の提案
 113-12-1 : 発電用火力設備規格 詳細規定 (202X 年版) 第Ⅶ章改定案の修正案の規格委書面投票資料
 113-12-2-1 : J CC141TB に関する事例規格案の承認意見対応
 113-12-2-2 : J CC141 事例規格修正案
 113-13-0 : 設計・建設分科会 審議案件
 113-13-1 : 設計・建設規格 2022 年版出版用原稿チェック時他で見付かった正誤表提案
 113-13-2 : 設計・建設規格 2026 年版改定提案 解説 PVB-3111 一次応力評価での解析モデルの板厚の取り扱い
 113-14-1-0 : 溶接分科会審議案件
 113-14-1-1 : 溶接規格 2007 年、2012 年、2016 年版正誤表案
 113-15-0 : 資料リスト
 113-15-1 : FSI-23-04 検査章解説の様式の見直し
 113-16-0 : 材料分科会 審議項目一覧
 113-16-1 : 材料規格 2022 年版 正誤表 (FIX)
 113-16-2-1 : 材料規格 2008 年版 正誤表 (提案)
 113-16-2-2 : 材料規格 2022 年版 正誤表発行の承認に関する書面投票結果通知
 113-16-2-3 : 材料規格 2024 年版に対する正誤表発行 (提案)
 113-16-3 : 材料規格 2024 年版「公衆審査版からの編集上の修正」の承認に関するメール審議結果通知
 113-17 : 高温規格分科会 審議案件リスト
 113-17-1 : ETDW 24-005 溶接規格改定「溶接部の表面規定」他の高速炉溶接規格への反映
 (113-18 : 欠番)
 (113-19 : 欠番)
 113-20-1 : 事例規格 NC-CC-008 における縦弾性係数の扱いについて
 113-20-2 : 事例規格 NC-CC-008 修正案
 113-20-3 : 事例規格 NC-CC-008 改定提案「事例規格における縦弾性係数の扱いについて」の承認に関する書面投票結果通知
 113-20-4 : 誤記等の訂正に関する処置要領 (参考)
 (113-21 : 欠番)
 (113-22 : 欠番)
 113-23-1 : 液体貯蔵タンク動的弾塑性座屈解析手法ガイドライン (案) に対する規格委書面投票意見対応案について
 (113-24 欠番)
 113-25-0 : 竜巻影響評価分科会 審議案件
 113-25-1 : 竜巻飛来物の衝撃荷重による構造物の構造健全性評価手法ガイドライン (2025 年版) (修正審議提案)
 (113-26 欠番)
 113-27-1 : Contract between ASME and JSME (2025/3/13 検討用)

5. 議事内容

(1) 開 会

出席者を点呼し、定足数（委員総数の 2/3 以上）を満足することを確認した。

(1-1) 議事次第 確認

(1-2) 前回議事録の確認【資料 113-1】

事務局より、前回議事録案が説明され承認された。

(2) 委員人事

(2-1) 規格委及び専門委員会役員・委員人事【113-2】

規格委の委員及び各専門委員会の委員人事案件について報告・審議が行われ、全会一致で承認された。内容は以下のとおり。材専委員長選任の結果、西井委員長再任が承認された。材専副委員長が澤田委員、幹事が三木委員となることが紹介された。また、笠原委員長の所属が東大から東京都市大になることが紹介された。なお、規格委の人事については、次回理事会の承認をもって確定される。

➤ 規格委委員会

〔新任〕 佐々木委員 (KHI)

〔再任〕 川畑委員 (東大)

〔退任〕 中村委員 (KHI、2025/3/E)

➤ 火力専門委員会

〔新任〕 —

〔再任〕 —

〔退任〕 —

➤ 原子力専門委員会

〔新任〕 —

〔再任〕 —

〔退任〕 —

➤ 材料専門委員会

〔新任〕 —

〔再任〕 —

〔退任〕 高木委員 (火原協、2025/3/E)

〔アドバイザー〕 木村委員 (NIMS)

➤ 核融合専門委員会

〔新任〕 —

〔再任〕 一ノ瀬委員 (レゾナック)

〔退任〕 —

(3) 優先的に審議すべき事案又はトピックス

(3-1-1) 原専 2025 年度活動計画【資料 113-3-1】【資料 113-3-2】【資料 113-3-3】(説明者：原専 山田幹事)

- 原専 2025 年度活動計画とロードマップが紹介された。なお、再処理設備分科会は活動休止中であることが報告された。

主な議論は以下のとおり

- 電気協会は活動計画を公開しており、同様の対応ができないか。
→ 長期の原専活動方針を公開しているが、本資料は規格委への報告のための内部資料である。規格委から次年度に向けた意見があればコメント頂きたい。
- 各分科会の状況は把握できるが、今後は、原専として外部説明用に用いることも想定して重要となる横断的または長期的なトピックスの進捗を紹介できる資料も作成するとよい。(他の専門委員会も同様)

(3-1-2) 誤記等の訂正に係る処置要領の改定について【資料 113-3-2】(説明者：原専 中島副委員長)

- 内規に明記されていない誤記訂正事案が生じたこと、改訂は改定に見直す方針であること、を踏まえて誤記等の訂正に伴う内規変更(案)が紹介された。
- 原専での書面投票結果通過を前提に、規格委で書面投票(書面投票番号 667)を実施することが承認された。

主な議論は以下のとおり

- 規定番号の誤りは、ユーザが混乱しないように手元にある規定番号で確認できるようにした。

- (3-1-3) 適用年版管理用正誤表リスト作成内規の改定について【資料 113-3-3】(説明者：原専 中島副委員長)
- 規格(事例規格、ガイドライン)が初版のみであり正誤表リストがなくても正誤表対象年版(事例規格の場合は規格番号)が自明な場合は正誤表リストを作成しなくてもよいことが内規に明記されていないため、追記する内規変更(案)が紹介された。
 - 内規改定番号は最新版が R2 (R1 は誤記)であるため、R3 として発行させて頂きたい。
 - 原専での書面投票結果通過を前提に、規格委で書面投票(書面投票番号 668)を実施することが承認された。
- (3-1-4) 正誤表リストの運用について【資料 113-3-4】(説明者：原専 中島副委員長)
- 現状の規格委ホームページ仕様では規格と正誤表リストがリンクできないため、今後規格委ホームページ仕様変更が可能であればリンクできるようにして欲しい旨が報告された。

主な議論は以下のとおり

- ホームページ仕様変更時には検索機能強化も検討して欲しい。(検索はできるが見つけない等)

- (3-1-5) 公衆審査原稿範囲の統一について【資料 113-3-5】(説明者：原専 中島副委員長)
- 現状では、公衆審査原稿を改定箇所のみとする場合と規格全体とする場合の両方の事例があるが、運用として、以下とすることが報告された。
 - ・公衆審査原稿の範囲は、改定箇所を含む規定全体(規定番号ごと)又は改定対象の図表単位で定める。ただし、分科会で改定箇所の抽出作業が負担と判断された場合は、規格全体や改定箇所を含む章全体を対象とすることも可能とする。
 - ・公衆審査原稿にはテキストコピー、印刷禁止のプロテクションを導入し、目的外使用を防ぐこと。(事務局にて対応)
- (3-2) 新規材料採用ガイドライン改定提案について【資料 113-3-6-1】(説明者：材専 西井委員長)
- 以下を反映するために、新規材料採用に関するガイドラインの改定推奨案(改定提案は材専で意見伺い済)を策定している旨の報告があった。
 - ・供試材、溶鋼数、標本数等、用語の定義の明確化
 - ・引張特性に関する要求データの見直し
 - ・クリープ特性に関する要求データの見直し
 - 本改定案の骨子は以下である。
 - ・用語の明確化(標本→溶鋼)
 - ・溶鋼数に対する重複記述の整理
 - ・各製品形態に対して 3 溶鋼以上の要求は削除し、製品形態が異なる同等材に対しては 1 溶鋼以上(ただし、 casting 方法、形状、厚さ等が大きく異なる場合は 2 溶鋼以上)との規定を追加
 - ・規格委で策定済の「推奨引張試験方法」及び「推奨クリープ試験方法」に従うことを明記
 - 「材料規格に関する審議」の内規に基づき、火専及び原専での書面投票を実施する方針とした。

主な議論は以下のとおり

- 補足資料の p6 の溶鋼数について、ASME では室温最小規格値は策定していないので修正すること。⇒ 採承。(材専)
- 火専及び原専での審議を前提に、補足資料は精査・補強するよう調整する。(材専)
- 基本的な審議の流れは、火専及び原専で、今回の推奨案を参考に新規材料採用ガイドラインの改定案を審議し、承認した後、材専での審議、可決を経て、規格委での審議となる。本改定案は専門委員会を跨るものであるため、各専門委員会同士で協議して、同時提案して規格委での書面投票に進めるなど効率的な進め方を検討すること。

- (4) 発電用設備規格に関する審議
- (4-1) 発電用火力設備規格に関する審議
- (4-1-1) 発電用火力設備規格【資料 113-12-0、113-12-1、113-12-2】(説明者：火専 飯田委員長、材料分科会 伊藤主査)
- 発電用火力設備規格 詳細規定 (202X 年版) 第Ⅶ章 QW-432 の誤記修正について、火専での書面投票結果通過を前提に、規格委で書面投票 (書面投票番号 669) を 15 日間で実施することが承認された。
 - 規格委員会書面投票 No. 656 「J CC141TB に関する事例規格案の承認」について、意見対応及びそれに伴う修正案の説明があり、編集上の修正として承認された。
- (4-2) 発電用原子力設備規格に関する審議
- (4-2-1) 竜巻影響評価ガイドライン【資料 113-25-0、113-25-1】(説明者：竜巻影響評価分科会 寺田幹事)
- 竜巻ガイドライン 2019 年発行版について、原専委／規格委の軽微なコメントの反映、及び編集上の修正等を行ったことが説明され、原専での書面投票通過を前提に、規格委で 15 日間の書面投票 (書面投票番号 670) 及び公衆審査を実施することが承認された。
- 主な議論は以下のとおり
- 式の誤記があり、技術的内容と考えると該当部分に対して、公衆審査を追加実施する必要性がある。
 - 比較表では数式の表記ゆれがあるので、規格の数式を再チェックすること。⇒拝承。(竜巻影響評価分科会)
 - 公衆審査案内及びお知らせの文言は、規格委役員にて確認することとする。
- (4-2-2) 発電用原子力設備規格 設計・建設規格【資料 113-13-0、113-13-1、113-13-2】(説明者：設計・建設分科会 朝田主査)
- 設計・建設規格 2022 年版出版用原稿チェック時他で見付かった正誤表提案について、規格委書面投票コメントを反映後、原専メール審議 (No. 174) 及び規格委メール審議 (No. 98) で承認され、ホームページ掲載及び 2024 年版に反映していることが報告された。
 - 設計・建設規格 2024 年版改定案 (その 2) は、規格委書面投票 (No. 621) 後に、解説 PVB-3111 一次応力評価での解析モデルの板厚の取り扱いのみ 2026 年版に持ち越し案となったが、規格委書面投票コメントを反映後、原専メール審議 (No. 168) 及び規格委メール審議 (No. 99) で承認され、2026 年版に反映することが報告された。
- (4-2-3) 発電用原子力設備規格 溶接規格【資料 113-14-1-0、113-14-1-1】(説明者：溶接分科会 藤田幹事)
- 溶接分科会で審議した溶接規格 2007 年、2012 年、2016 年版正誤表案 (溶接部の吸収エネルギー) について、規格委で 15 日間の書面投票 (書面投票番号 671) を実施することが承認された。
- (4-2-4) 発電用原子力設備 維持規格に関する審議【資料 113-15-0、113-15-1】(説明者：維持規格分科会 野村主査、検査作業会 高木主査)
- 規格委員会書面投票 No. 657 「検査章解説の様式の見直し」について、意見対応及びそれに伴う修正案の説明があり、編集上の修正として承認された。
- (4-2-5) 発電用原子力設備 材料規格に関する審議：【資料 111-16】(説明者：材料分科会 山田主査)
- 材料規格 2024 年版公衆審査版策定時に確認された誤記についての正誤表発行提案は、可決、成案となった。
 - 材料規格 2008 年版の誤記について、正誤表発行提案があり、原専での可決を条件に規格委で 15 日間の書面投票 (書面投票番号 672) を実施することが承認された。
 - 材料規格 2024 年公衆審査版からの編集上の修正提案の成案が報告がされた。

- (4-2-6) 発電用原子力設備規格 高速炉規格等【資料 111-17、111-17-1】(説明者：高温規格分科会 溶接規格作業会 菊池主査)
- 高速炉溶接規格について、「溶接部の表面規定」他の高速炉溶接規格への反映(規定 FN-1080 等のタイトル見直し)の内容と原専書面投票 (No. 789) 結果の説明があり、規格委で 30 日間の書面投票(書面投票番号 673)を実施することが承認された。
- (4-2-7) 使用済燃料貯蔵施設規格：審議／報告なし【資料 111-18 欠番】
- (4-2-8) 配管減肉管理規格：審議／報告なし【資料 113-19 欠番】
- (4-2-8) 配管耐震評価事例規格【資料 113-20-0、113-20-1、113-20-2、113-20-3】(説明者：耐震許容応力検討タスクフェース 2 幹事会 奥田幹事)
- 事例規格 NC-CC-008 のうち、設計疲労線図の引用方法を検討する際の縦弾性係数の扱いについて、技術的修正を行いたいが、発刊済みの規格(本事例は事例規格)中の技術的な内容を正誤表で修正することで問題ないか、問題がある場合は代わりにどのように対応すべきかを規格委で協議することとした説明があった。
 - 内規の考え方に従うと正誤表を発行すべきであるとの対応方針が規格委で確認され、原専で正誤表発行の審議を再開することとした。また、内規で分かりづらい部分があれば、原専共通課題検討会で改定案を検討するようにとの指示があった。
- (4-2-9) 環境疲労評価に関する規格【資料 113-21-0】(説明者：高橋主査、朝田委員、疲労評価手法作業会 釜谷主査)
- 環境疲労評価手法 2022 年版の発行については、出版用原稿は完成し、事務局での転載許可手続き待ちであることを報告した。
 - 環境疲労評価における K_e 係数を考慮したひずみ速度算出については、規格委書面投票 (No. 653) 可決後、意見回答の準備中であることが報告された。
 - 環境の影響を受けないひずみ範囲(環境効果不感帯)を考慮した詳細評価手法については、規格委書面投票 (No. 665) 可決後、意見回答の準備中であることが報告された。

主な議論は以下のとおり

- 環境疲労評価手法 2022 年版の事務局での転載許可手続きについては、原子力規制庁(旧 JNES)に問合せ中であることが紹介された。

(4-2-10) コンクリート製格納容器規格：審議／報告なし【資料 113-22 欠番】

(4-2-11) シビアアクシデント時の構造健全性評価ガイドライン【資料 113-23-01】(説明者：過酷事故対応分科会 永田主査)

- 液体貯蔵タンク動的弾塑性座屈解析手法ガイドライン(案)に対する規格委書面投票 (No. 666 ; 継続中) 意見対応案について、意見対応案及びガイドライン案見直し版の状況説明があり、原専での書面投票通過を前提に、規格委で書面投票(書面投票番号 674)を実施することが承認された。なお、まだ意見対応のやり取りが収束しておらず、原専の書面投票はそれが収束してから行われるので、規格委の投票は原専の書面投票での承認後に行うことになった。

主な議論は以下のとおり

- 早期に発刊して解析事例を増やすことでガイドラインの質を高めて頂きたい。
- 解析コードやタンク形状・荷重などを適用範囲と目的を限定することも検討した方が議論が早く収束すると思われる。

(4-2-12) 目標信頼性評価に基づく静的機器の構造評価ガイドライン：審議／報告なし【資料 113-24 欠番】

(4-2-13) 核融合設備規格：【資料 113-27】

- (5-7) 核融合専門委員会報告参照。

- (4-2-14) WGNT workshop 案内【資料 113-11-5】(説明者：規格委 朝田委員)
- 非軽水炉のワークショップであるが、高速炉や高温ガス炉関係は参考になるため、参加を打診されたことの紹介があった。
- (5) 発電用設備規格委活動状況報告
- (5-1) 規格委幹事会報告【資料 113-4】(説明者：規格委 北浦幹事)
- 2025/2/25 に開催された第 102 回規格委幹事会の概要について説明が行われた。
- (5-2) 書面投票結果【資料 113-5】
- 事務局より書面投票の実施状況について、資料配布したものを確認頂くよう報告した。
- (5-3) 質問受付回答状況【資料 113-6-1】
- 事務局より、質問の受付及び回答状況について、資料配布したものを確認頂くよう報告した。
- (5-4) 公衆審査報告【資料 113-6-2】
- 事務局より、以下の規格の改定案に対する公衆審査が意見なしで終了したことが報告された。質問、異議等はなく、本日を以て規格委での審議を終了し、2025 年版として、理事会に上伸することが確認された。
- No. 205：発電用原子力設備規格 加圧水型原子力発電所 配管減肉管理に関する技術規格 (2025 年版) (案)
 - No. 206：発電用原子力設備規格 沸騰水型原子力発電所 配管減肉管理に関する技術規格 (2025 年版) (案)
 - No. 207：発電用原子力設備規格 維持規格 事例規格 NA-CC-017 オーステナイト系ステンレス鋼の PWR 一次系水質環境中の SCC 亀裂進展速度 (案)
- (5-5) 火力専門委員会報告 (説明者：飯田火専長)【資料 113-7】
- 火専の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。
- 規格委書面投票 (No. 656)「J CC141TB に関する事例規格案の承認」可決要件を満足
 - 火専書面投票 (No. 102)「火力設備規格 詳細規定第Ⅶ章 改定案の誤記修正案の承認」投票中
 - 規格委書面投票 (No. 656)「J CC141TB に関する事例規格案の承認」の意見対応の内容が了承し、意見対応表に反映することを確認
 - Alloy617B の規格化に関する検討については、材料専門委員会より Alloy617B を発電用火力設備規格に取り入れる際に必要な材料仕様と引張応力の策定に関する検討結果の報告を受け、火専材料分科会にて事例規格案の策定を行うことを了承
 - 石山氏から超臨界 CO₂ を用いた発電システム等に関する報告と意見交換があり、火専との意見公開会議設置の提案を受けた。(主な議論の対応方針参照)
 - 2025 年度火専活動計画 (案) は策定中であり、次回の火専で審議、決定予定
 - 次回は、第 112 回火専 (2025/5/28) 対面と WEB のハイブリッド形式で開催予定
- 主な議論は以下のとおり
- 石山氏からの提案については、規格委傘下の専門委員会や分科会への参加による相談等は拒まないが、会議体設置は規格委審議事項であり、現状会議体は設置しない方針であることを確認した。(他の専門委員会での対応も同様)
- (5-6) 原子力専門委員会報告【資料 113-8】(説明者：高屋原専長)
- 原専の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。
- 2025/2/26 に第 91 回原子力委員会幹事会を Web で、2025/3/6～2025/3/7AM に第 123 回原専をハイ

ブリッド開催した。

- 2024 年度原専・分科会活動計画、誤記等の訂正に係る処置要領の改定、適用年版管理用正誤表リスト作成内規の改定、正誤表リストの運用、公衆審査原稿範囲、解説における要求事項の記載への対応案、高温ガス炉の規格化に係る技術課題と対応方針、正誤表による技術的修正の可否（配管耐震事例規格）、公衆審査後の技術的修正（竜巻影響評価ガイドライン）を審議した。
- 材料専門委員会へのご意見伺いとして、「AM 技術規格案の材料関連の論点に関するご意見伺い」（2024/12/16-2025/1/24）を実施し、高温ガス炉用材料強度基準の整備について今後依頼予定である。
- 2025/5/30 に第 92 回原子力委員会幹事会、2025/6/6 に第 124 回原専を Web で開催予定。

(5-7) 材料専門委員会報告【資料 113-9】（説明者：西井材専長）

材料専門委員会の活動状況について資料により報告された。内容は以下のとおり。

- 推奨試験方法 3 種合本規格案については、書面投票（No. 65）の意見対応を終え、修正案に関する再書面投票（No. 70）を 2025/4/17 まで受付中
- 許容値策定用標本数検討（タスク活動；RQ21-C2-004）については、新材料採用に関するガイドライン改定案の意見伺い（No. 69）の意見対応を終え、本委員会にて審議：(3-2) 参照
- Alloy617B の規格化に関する検討（RQ20-C3-002）については、第 111 回火専で検討結果を報告
- 「火 SCM28 系鋼の許容値等の見直し結果」に関する技術的妥当性の検討（RQ24-C3-002）については、新材料規格化分科会にて見直しに係わるプロセスの妥当性検証を中心に開始
- AM 技術格の材料関連規格案のレビューについては、論点の明確化に向けた意見伺い（No. 67）の意見に対し、AM 技術規格検討タスクより引張強度の温度依存性に関わらない事項に関する回答を受けて審議を継続し、その他の事項に関しては次年度に引張強度の温度依存性に係わるデータを拡充する必要があり審議中断
- 2025/3/12 に第 65 回材料専門委員会を Web 形式で実施し、次回は第 66 回材料専門委員会を 2025/6/12 に対面と WEB のハイブリッド形式で開催予定

(5-8) 核融合専門委員会報告【資料 113-10、資料 113-27】（説明者：核融合専門委員会 洪鋼副委員長）

核融合専門委員会の活動状況について資料 113-10 により報告された。内容は以下のとおり。

- 書面投票「JSME 超伝導マグネット構造規格の改定案の承認」（No. 51）は済
- 書面投票「NBI 高電圧ブッシング用絶縁円筒構造規格及び技術背景（案）の承認」（No. 52）は反対 1 票あり意見対応中
- 2025/3/11 に第 88 核融合専門委員会に WEB 形式で開催し、次回は第 89 核融合専門委員会は 2025/6/10 に WEB 開催の予定

また、核融合設備規格状況について資料 113-27 により報告された。

- 2025/2/2～2025/2/7 に開催された ASME Code week の ASME Sec. III Div. 4 に対応する規格を ASME と JSME で協定を結んで QST で協議していくことになっている。

主な議論は以下のとおり

- ASME との協定については、規格委として何を検討するものなのかも含めて 2025/5 の ASME Code Week での ASME 側との調整前に規格委内のコンセンサスをとる必要がある。また、構造設計規格の議論に入る前に原子力学会などの関連機関での検討状況であり、特に重要度分類の考え方について確認が必要である。なお、今回提案のあった ASME-JSME の合意書については、ASME-JSME の一般協定もあるはずなので確認すること。⇒2025/4/14 の規格委役員と核専役員で意見交換会を開催することとした。

(6) 委員会運営に関する報告／審議

(6-1) 原子力関連学協会規格類協議会の活動状況報告【資料 113-11-1】（説明者：規格委 北浦幹事）

類協議会の活動状況について報告された。内容は以下のとおり。

- 規格類協議会は 2025/3/18 に開催された。
- 次に取り組む検討課題は、規格類協議会のステートメント（平成 30 年 3 月 8 日）の改定とし、2025/3/12 原子力学会春の年会の規格セッションで内容含め協議する。
- 規格策定段階における NRA と学協会の積極的な議論推進に向けた取組みについて、2025/1/15 の NRA 面談にて規格類協議会合意案を提示し了承され、NRA 内で各会議体に出席する人員を調整中である。
- JEAC4601（耐震設計技術規定）の技術評価について、技術評価チーム立ち上げを 2025/4 に規制委員会で諮り、初回会合を 2025/6 に実施予定である。

(6-2) ASME Code 委員会に関する報告【資料 113-11-2】（説明者：原専 高屋委員長）

2025/2/3～2024/2/6 を中心に、バーチャルで開催された ASME B&PV Code 委員会のうち、JSME 規格委の運営に関連が深いと考えられる次の委員会の概要が報告された。

- SDO Code Convergence Board (2025/2/3) : 添付-1
- Seismic Design Steering Committee (キャンセル) : 添付-2
- ASME/JSME Joint TG Severe Accident (2025/2/4) : 添付-3
- ASME/JSME Joint WG RIM Process and System Based Code (2025/1/30) : 添付-4

(6-3) 発電規格の出版状況に関する報告【資料 111-11-3】（説明者：事務局）

規格の電子配信及び出版の状況について報告があった。内容は以下のとおり。

- 前回 2024/12 以降の進展として、以下の規格は規格委で制定されて企画理事会承認まで進んでいることが報告された。
 - ・ JSME NA1-2024 維持規格 (2024 年版)
 - ・ JSME NB1-2024 溶接規格 (2024 年版)
 - ・ JSME NJ1-2024 材料規格 (2024 年版)
- 本日承認された以下の 3 規格については、2025 年版として理事会に諮る旨の報告がされた。
 - ・ JSME S NG1 PWR 配管減肉管理に関する技術規格
 - ・ JSME S NH1 BWR 配管減肉管理に関する技術規格
 - ・ 維持規格 事例規格 NA-CC-017 オーステナイト系ステンレス鋼の PWR 一次系水質環境中の SCC 亀裂進展速度
- その他：事務局紙媒体は電子化依頼済。一部業者作業中。

(6-4) ホームページの更新に関する報告【資料なし】（説明者：事務局）

ホームページ更新の状況について報告があった。内容は以下のとおり。

- 試用版が完成したため、使用して確認をする予定であるが、スケジュールは調整中である。

主な議論は以下のとおり

- 事務局だけでは仕様を調整することが困難であると推察されるため、規格委下にタスクなどを設置して調整すること。
- 予算が黒字のうちに推進すること。

(6-5) ISO 20890 シリーズ定期レビュー検討依頼について【資料：113-11-6】（説明者：事務局）

ISO 20890（軽水炉一次冷却系 ISI ガイドライン 2020 年版）-2 (MT/PT)、-3 (HT)、-4 (VT) に対する定期レビューとして、添付 3-1 検討報告書（必要に応じ添付 4-1 別紙）を用いて検討を 2025/6 中に実施願いたい旨の依頼があった。本 ISO 規格は 2020 年初版発行に当たり、JSME 規格委としてレビューを実施しましており、当時の担当は以下であった。

- 日立 GE 殿：MT/PT (ISO20890-2)
- 東芝 ESS 殿：HT、RT (ISO20890-3、ISO20890-6)

➤ 三菱重工殿：VT（ISO20890-4）

主な議論は以下のとおり

- 実態として使用や引用していない。
- 前回と同じ分担で作業する。⇒前回の資料と今回の資料を事務局から分担するメーカーに配布する。
- 検討結果提示後、事務局で整えてから議論をするように進める。

(6-6) 2025 年度の年次大会講演依頼について【資料：113-11-6】（説明者：事務局）

JSME 本部から規格委の活動を「機械学会における標準化活動」として、2025 年度の年次大会 (<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jsme2025>、2025/9/7～2025/9/10) にて講演依頼があった。

主な議論は以下のとおり

- 依頼を受けることとする。規格委幹事会で調整する。

(7) 今後の予定

次回の発電用設備規格委の開催予定は以下のとおり。

- 第 114 回 発電用設備規格委：2025 年 6 月 19 日（木）10：00～17：00 対面と WEB のハイブリッド開催（後日再調整となった）

以 上